

2020年3月期第2四半期 決算説明会 質疑応答

(回答者)

代表取締役社長 櫻井昭彦

<質問>

2020年3月期 期末の受注残高は2,100億円の予想ですが、各セグメント別の売上計上見込みについて、教えてください。

<回答>

(櫻井)

内訳は、電力事業 565 億円、化学・エネルギー事業 740 億円、産業機械事業 760 億円、素材・計測事業 5 億円、グローバル事業 30 億円。

売上計上時期は、2021年3月期 1,100 億円、2022年3月期 600 億円、2023年3月期以降 300 億円を予定。

来期(2021年3月期)は、大型設備商談の売上計上予定はなく、電力事業を中心とした大型部品の売上計上を予想。2022年3月期以降、前期以前または現進行期に受注した大型設備商談の売上計上を見込む。

以上

(将来の予測に関する注意事項)

本資料にて開示されておりますデータおよび将来に関する予測につきましては、本日現在入手可能な情報に基づくものであり、予測不能、もしくは不確定な要因により、大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。